

北海道で生まれた全国注目の「呼吸する換気口」

取り付けだけで通年ゼロエネ自然換気 国交省住宅局長賞受賞で全国的評価も

させる効果や、「生活臭や煙草のにおいもいつの間にか消えている」と話す設置主も。

コロナ禍を経て、重要性が

改めて見直されている室内の換気。ただ定期的な窓の開け閉めによる空気の入替えは、冬が寒い北海道にとっては中々大変で、その換気効果も恒常的とはいえない。また機械による24時間換気もメンテナンスの必要性や稼働音の大きさ、外部動力を常時稼働

させていることによるエネルギーロスといった課題が散見している。そもそも窓を閉じたまませゼロエネルギーで、常に空気の入替えが行なわれているというのが理想だろう。

それを実現しているのが、(有)グッドマン(本社札幌市)が手掛ける「グッドマン換気口」。約15年前から発売されているロングセラーの換気口だ。大きな特長のひとつは、キャッチコピーにもある「呼吸する

換気口」という点。

同品は設置するだけで、外部動力を用いないゼロエネルギー自然吸排気により外から新しい空気を取り込みつつ、煙突効果で室内上部の空気をこもらせることなく排出する。「換気口から外気の寒さが入ってくるのでは？」といった心配も不要。冷気が入ってくる現象をダウンドラフトと呼ぶのだが、過去に地方独立行政法人 北海道立総合研究機構が「グッドマン換気口」と、通常の換気口とでダウンドラ

フトの発生状況を調査しており、その報告書で「グッドマン換気口」は通常換気口より、冷気の流入が非常に少ないことが示されている。

換気は元より結露対策に大変有益なもの「グッドマン換気口」の大きな強み。常時自然の力で温度差・風力換気が行なわれることで、結露発生が大幅に抑えられ、それ由来のカビの発生も抑制できる。以前、取付後の結露状況について利用者アンケートを行なったことがあったが、結果は非常に良くなった・良くなったの回答が約85%を占め、悪くなったとの回答はゼロだったという(他は変わらな

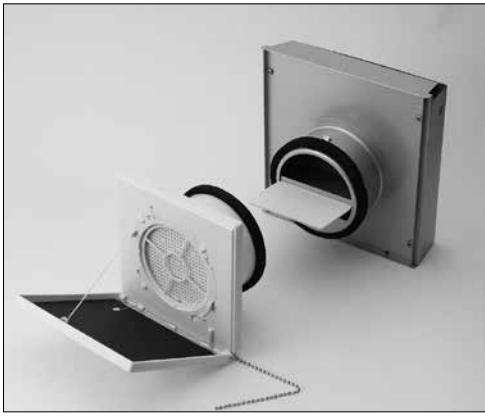
いと回答)。これまで触れてきた以外にも室内の2酸化炭素(CO₂)濃度を大きく低減

公的団体も同品を高評価。平成24年度に札幌経済産業局「省エネルギー大賞」。同25年度に第10回エコプロダクツ大賞奨励賞。同29年度発明協会会長賞。令和4年度は北のブランド2022金賞。令和5年には日本建築材料協会が主催する「理想のすまいと建築フェア」において、国土交通省住宅局長賞を受賞した。同式典の会場は大阪。これからは関西圏はじめ全国の建築事業者も同商品に大きな関心を寄せそうだ。

同品の詳細はグッドマン。もしくは販売を担う(株)日浦に問い合わせしてほしい。

■(有)グッドマン・ショールーム
札幌市中央区南4条西14丁目1-24
☎011・563・0744
<http://www.kankko.com>

■(株)日浦 札幌市白石区本通7丁目南7-25
☎011・864・0177



写真は最も一般的なGMS-100(丸形)の「グッドマン換気口」(1基税別16,800円、設置工費は別途)



高気密、高断熱、空気の流れを確認できるグッドマンショールーム



このQRコードではクラスター対策を前面に打ち出した特設サイトを確認できる

このQRコードではクラスター対策を前面に打ち出した特設サイトを確認できる

このQRコードではクラスター対策を前面に打ち出した特設サイトを確認できる